



「PHRによる患者とかかりつけ医師連携」

～医療DX活用について、事例紹介～

2024/9/10

株式会社Welby

株式会社Welby 取締役
CMO兼マーケティング部長
新谷 将司





“Empower the Patients”

患者が、自ら情報を得て、自ら行動して、自ら判断する



Now

Future

PHR (Personal Health Record) のリーディングカンパニー

会社名	株式会社Welby (Welby Inc.)
設立	2011年9月20日 (2019年東証マザーズ上場)
主要事業	医療機器及び関連ソフトウェアの製造・販売・運用 (医療機器製造販売許可業)
医学顧問	自治医科大学 小谷和彦教授、他各領域専門医20名以上
主要顧客	中外製薬株式会社、日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社、マルホ株式会社、アストラゼネカ株式会社、武田薬品工業株式会社、ファイザー株式会社、小野薬品工業株式会社、徳島大学病院など医療機関多数
提携・連携	株式会社スズケン、日本生命、中部電力、docomo 等

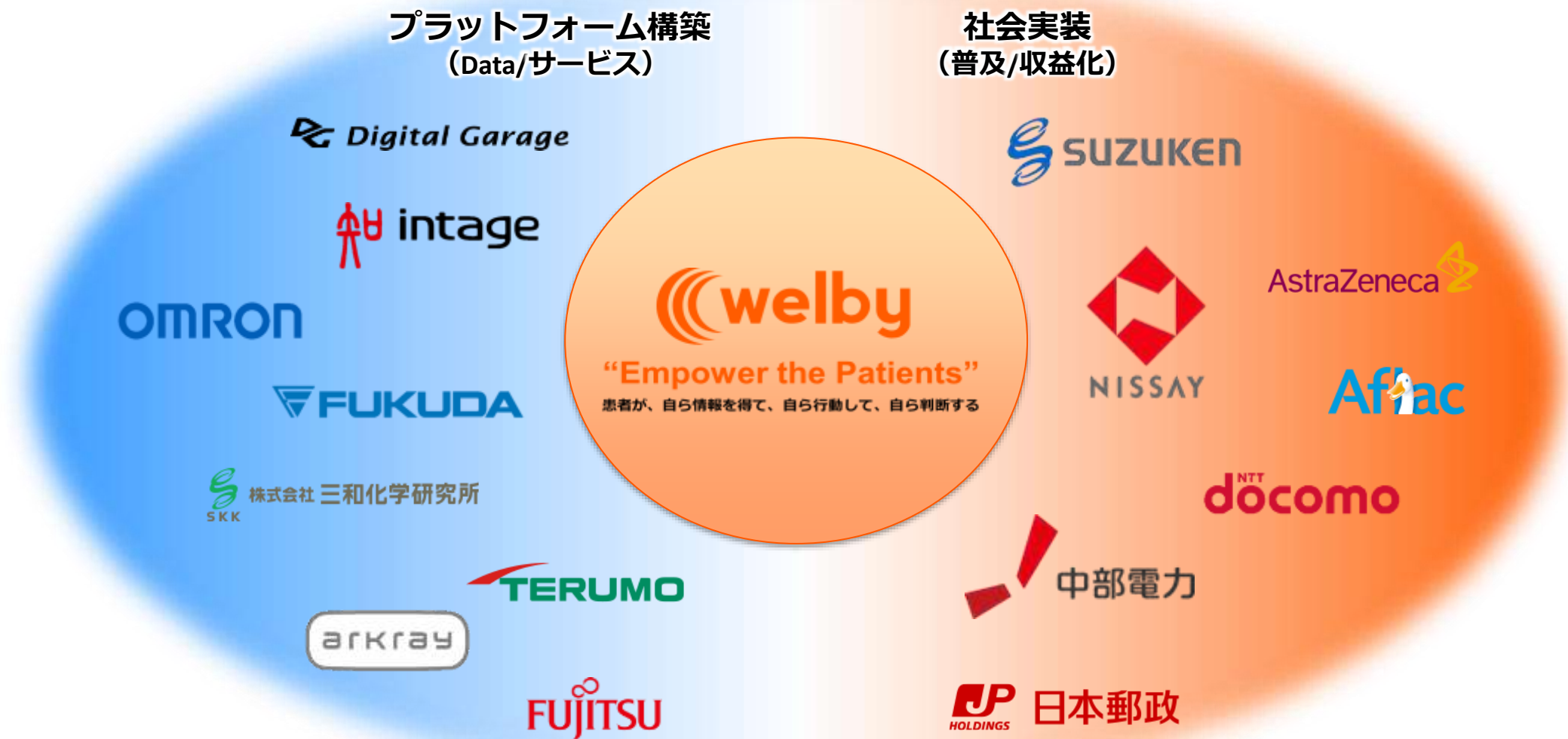
主な提携/連携パートナー



臨床研究事例

医療機器製造販売業 第二種
 情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) の国際規格ISO27001認証
 【臨床研究】
 徳島大学 (糖尿病)
 自治医科大学/国分寺さくらクリニック (高血圧)
 名古屋大学 (慢性腎臓病)
 大阪市立大学 (非アルコール性脂肪肝炎)
 聖マリアンナ医科大学病院 (胃がん)
 総務省 戦略的情報通信研究開発推進事業 (SCOPE)

社会課題解決をパートナー企業と連携して推進



PHR（パーソナル・ヘルス・レコード）とは

個人が自らの生活の質(QOL=Quality of Life)の維持や向上を目的として自らの健康に関する情報を収集・保存・活用する仕組み

様々なデータソース・デバイスと連携し、PHRデータの集積が実現

ウェアラブルデバイス



- 運動
- 睡眠
- 心拍等

マイナポータル



- 健診
- 予防接種
- 薬歴等



健康測定機器



- 血圧
- 血糖値
- 体重等

スマホ内臓アプリ

- iOS : ヘルスケア
- Android : Googleヘルスケア

PHRを活用した新しい治療体験

診療と日常をPHRアプリが繋ぐことで患者の状態が見える化。患者の自己管理データを活用することで、診療の質を高め、治療効果を最大化する

① 医師が患者にマイカルテを紹介

パンフレットやアプリを案内



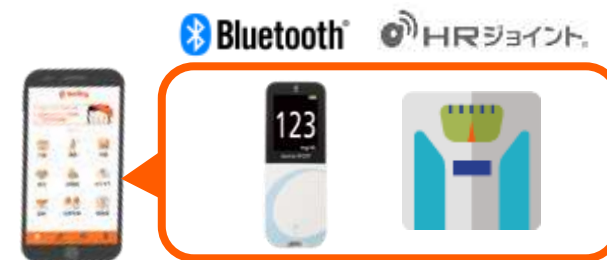
④ 療養指導を効率的/効果的に 患者の治療が継続

治療継続 効率化

アウトカム改善

② 患者自身がかんたん記録

バイタル / 食事 / 運動 / 処方 / 睡眠 / PRO
検査値等測定機器と連動



③ データは医療機関と共有 データをグラフ等で確認

食事管理 / 血圧・体重 / 血糖値



Welby PHRの対象ドメイン

予防/未病での早期管理&介入から、治療ドメインでの管理をターゲット



予防/未病での早期管理&介入PHRとして、国内最大の会員規模を有する。

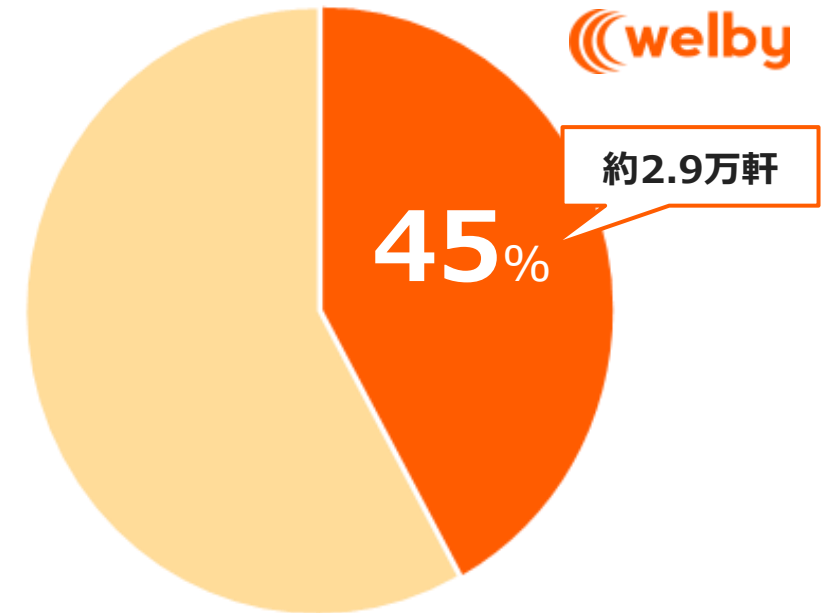
112万

DL数 (iOS/Android)

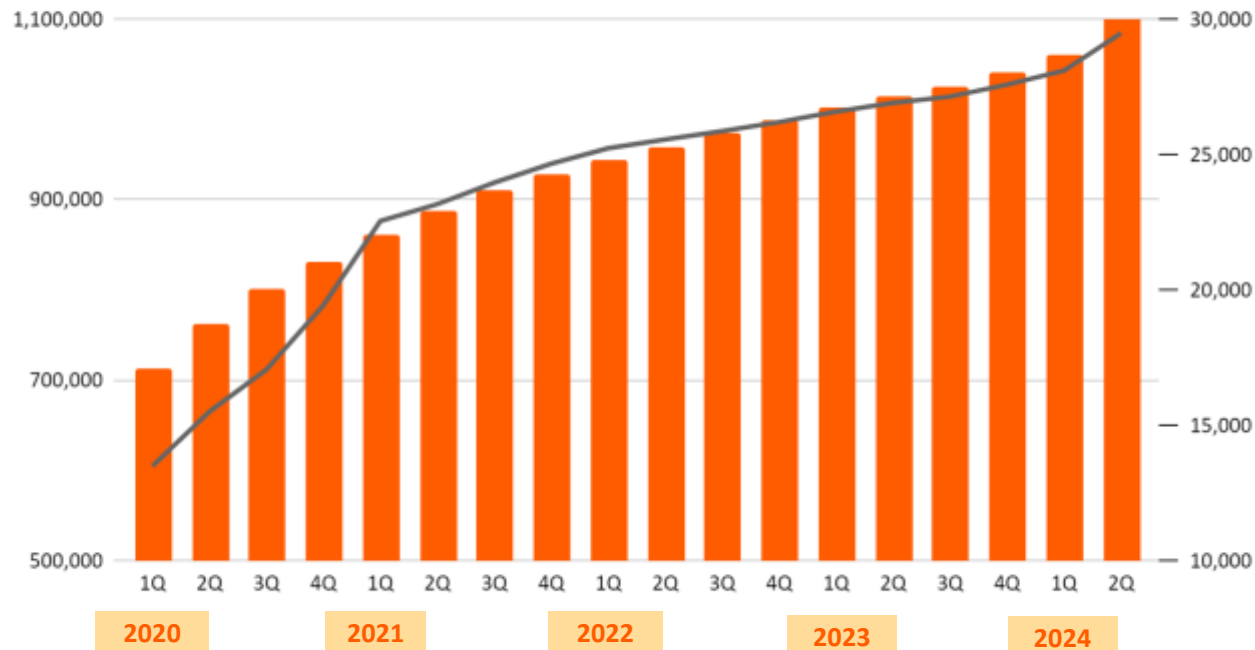
2.9万軒

登録医療機関数

マイカルテ利用者の
かかりつけ医登録施設割合



Welbyアプリ累計ダウンロード数と「Welbyマイカルテ」かかりつけ医登録機関数 推移



「かかりつけ医療機関」として登録している医療機関数は、国内の内科系医療機関約64000軒の45%になっております。(2024年6月末現在)

Source : 厚生労働省「医療施設調査の概況」より算出

これまでのPHRラインナップ



PHRには、企業スポンサードアプリと独自開発アプリがある
独自開発アプリについては、OEMでの提供も実施している



生活習慣病

まいさほ
生活習慣病

わたしケア
2型糖尿病

らくらく
血圧日記
高血圧症



がん

つたえるアプリ
がん全般

腺ノート
前立腺がん



中枢神経疾患

こころケア
統合失調症

AOZORA
成人期ADHD

リハビリ日誌
パーキンソン病

Welby
単独開発

Welbyマイカルテ
糖尿病・
生活習慣病

WelbyマイカルテONC
がん・血液疾患



自己免疫疾患

IBDサプリ
潰瘍性大腸炎/
クローン病

リウマチ
ダイアリー
関節リウマチ



希少疾患

PAHケアノート
肺動脈性
肺高血圧症

SMAiLEE
脊髄性
筋萎縮症SMA

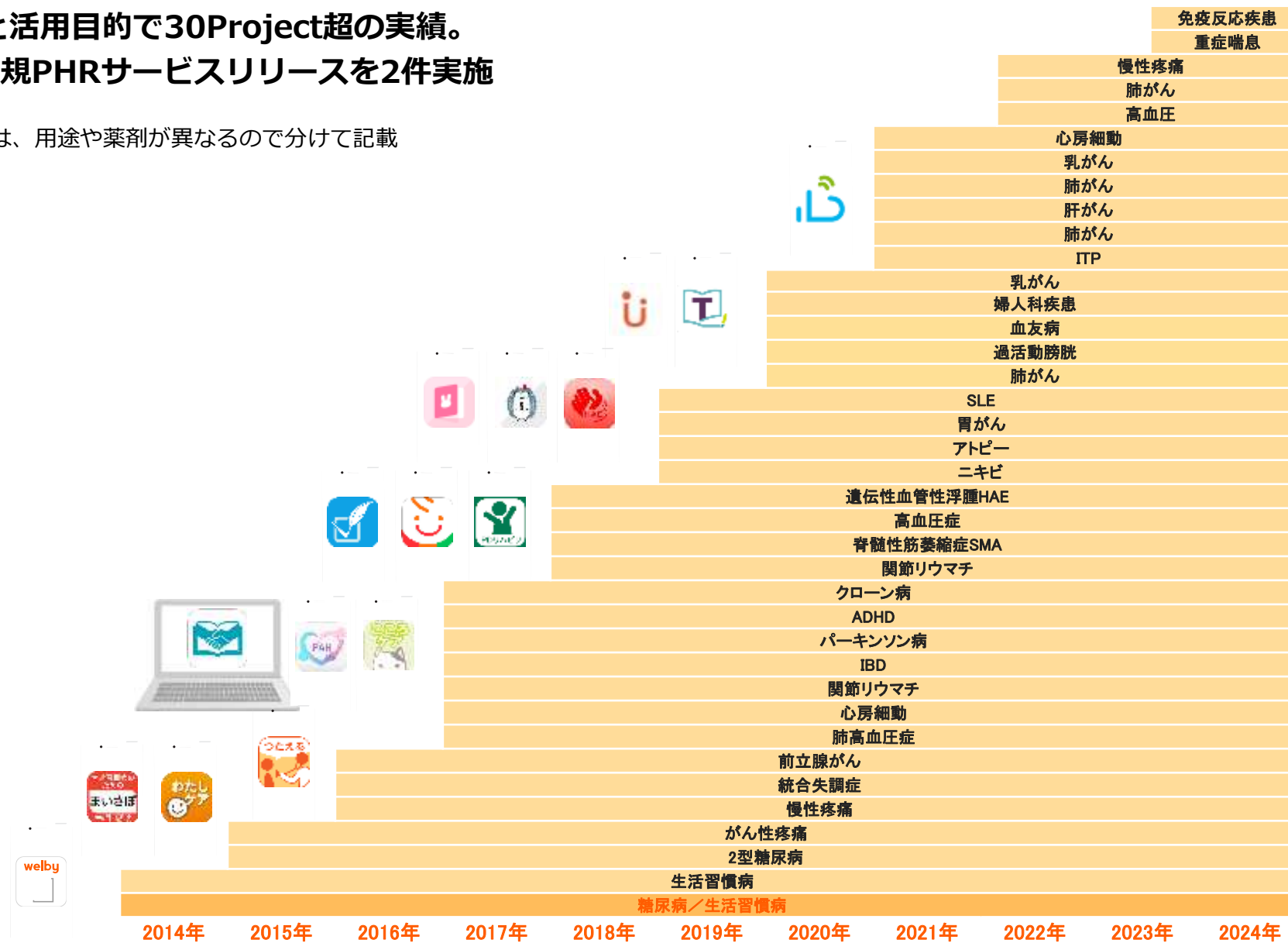
HAEノート
遺伝性血管性
浮腫HAE

※上記の中にはサービスを終了したアプリも含まれております。(2023年12月現在)

製薬企業向け疾患領域別PHRのOEM開発の拡大

多数の疾患領域と活用目的で30Project超の実績。
2024年上期は新規PHRサービスリリースを2件実施

※同じ疾患領域のものは、用途や薬剤が異なるので分けて記載



メーカーを超えて連携することで使いやすい基盤に

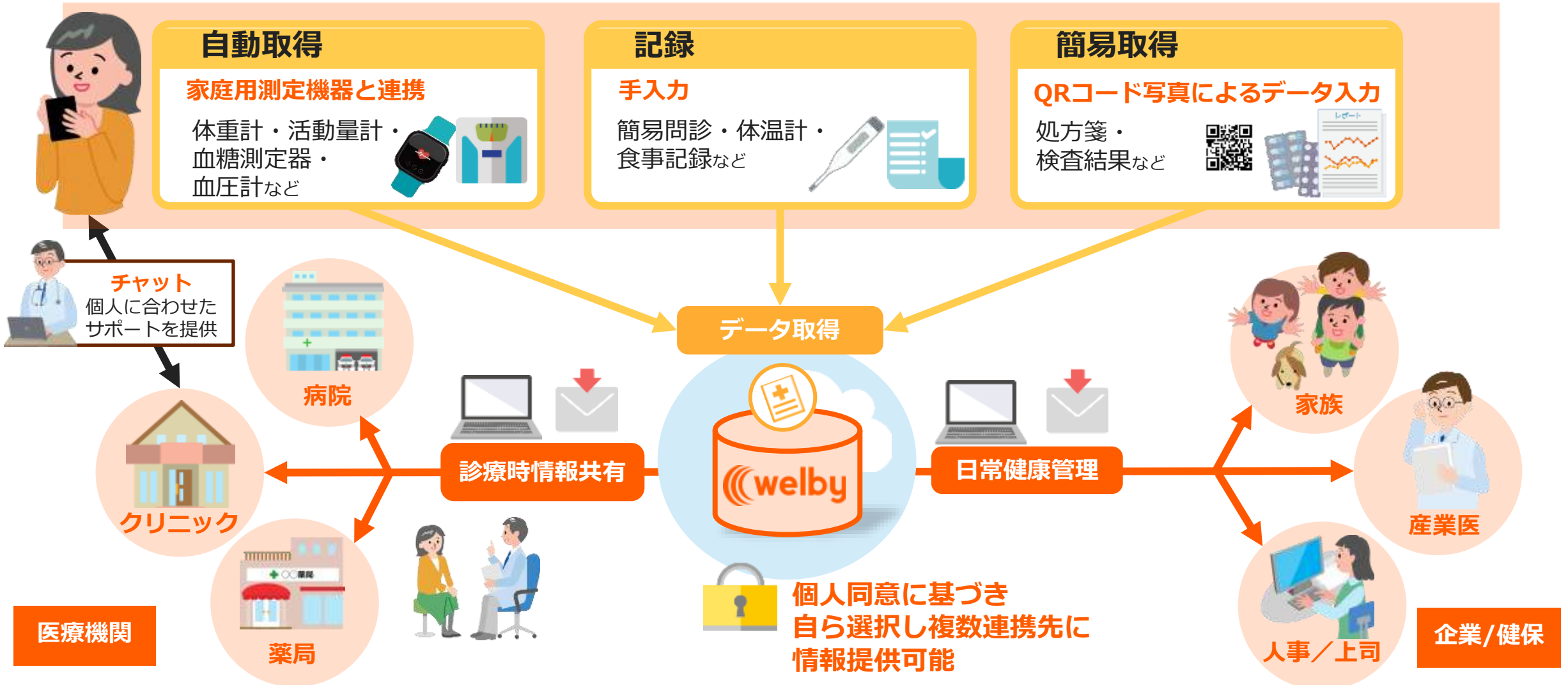


連携機種一覧・連携方法

URL : <https://karte.welby.jp/patient/cooperation.html>

Welbyマイカルテ情報提供サービスの概要

医療機器との自動連携によって得られたバイタルデータや自身で記録した医療情報から、個人が提供したい情報や連携したい施設を選択して情報共有が可能。



PHRデータの取り扱いに関するルール作りやマイナポータルへの医療情報集約・民間事業者と連携した環境整備が進展中

公的インフラとして制度整備を進める

公的機関の情報（健診・レセプト等）

2020年：乳幼児健診、2021年：特定健診、レセプト（薬剤）、2022年：がん検診など、順次提供開始

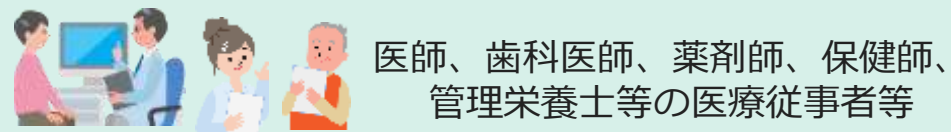


医療機関の情報（電子カルテ等）

検査、アレルギー、医療画像等を、2024年から提供開始予定（※現在、システム整備やデータ標準化の検討中）

ユースケース② 医療機関等受診時における利活用

医療従事者等と相談しながら、自身の健康増進等に活用



ユースケース③ 研究等

マイナポータル集約

令和3年4月、総務・厚労・経産の3省庁で、マイナポータル等からの健診等情報を扱うPHR事業者が遵守すべきルールの指針を策定

民間事業者と連携して環境整備を進める



今後、民間事業者と共に、ルール整備が必要

ユースケース① 日常における利活用

行動変容等の自己管理をサポート



デジタル庁からの承認を受け、マイナポータル内の「特定健診情報」「薬剤情報」「予防接種情報」データをマイカルテ内でユーザーが管理、必要に応じて医療関係者等と共有。



「PHRサービス事業協会」が正式設立・参画

2023年より事業者及び関連省庁連携により活動を開始

※127事業者（23年12/1時点）

■優先的に行う主な活動内容

- 1 業界ガイドラインの策定
- 2 ステークホルダー（医療介護関係者、アカデミア、行政等）との対話
- 3 必要な政策の在り方に係る提言

■組織運営体制

協会内に5つの課題に応じた委員会を設置

- ・標準化委員会 _____ 業界ガイドラインの策定
- ・サービス品質委員会 _____ 業界ガイドラインの策定
- ・広報委員会 _____ ステークホルダーとの対話
- ・技術・教育委員会 _____ 事業参入、事業開発、海外展開等の情報
- ・運営・管理委員会 _____ 団体の運営、管理、活動計画作成

PHRサービス事業協会

- ・エビデンスが重視される予防、治療、介護分野での活用から、豊かで幸福な生活（Well-being）に伴走する多種多様のソリューションまで多様なPHR関連の商品・サービスを提供する事業者が主導する我が国初のPHRサービス事業者団体
- ・良質なUXや多様なユースケース、企業価値と社会価値の双方が向上する事業・収益モデル、公正な競争などを常に意識

サービス利用者



国・政策
(マイナポータル等)

マイナポータル
データ

関連団体・アカデミア
(PHR関連団体等)

関連機関
(医療機関・健診機関・自治体等)

